

MOGI & MOGI

GALLERY SHOP



OKINAWA CRAFT SHOP

at MOGI & MOGI Gallery Shop

MOGI & MOGI Gallery Shop では「OKINAWA CRAFT SHOP」と題し、沖縄のフォークアートを一同に展示しています。オーナーのテリー・エリスと北村恵子が初めて沖縄を訪ねたのは約 30 年前。以来、沖縄のさまざまな時代のクラフトと出会い、作り手と交流する旅は今も続いています。

— 開催概要 —

『OKINAWA CRAFT SHOP』

日時：開催中 ～ 9 月 28 日（月）まで

＊土日月のみオープン 12:00 - 19:00

会場：MOGI & MOGI Gallery shop 東京都杉並区高円寺南 3-44-14

その土地ならではのモノづくりや作り手、それらを生み出した風土や歴史、食文化に魅了され、エリスと北村が通い続ける全国さまざまな場所や地域。約 30 年前に読谷、北窯の陶工の方々と、陶芸家・山田真萬さんの話を伺いに初めて行った沖縄も、とても大切な場所のひとつです。

MOGI & MOGI 恒例の沖縄展示、今回のテーマは二人が通い続けてきた“沖縄にあるクラフト民藝店”です。

全国にいくつものクラフト民藝店がありますが、他の地域の店との違いは、沖縄のクラフト民藝店は沖縄のものだけを扱っていること（時々アフリカやインディアン、アジアのものなどが差し込まれますが）。

素朴で力強い焼物、独特な歴史的背景や地理的条件により発展した染めや織物、廃瓶から生まれた琉球ガラスと、用いる素材から表現まで、非常に多様性のある沖縄のフォークアートが陳列された沖縄の店に入った時の感覚を、MOGI & MOGI Gallery Shop に再現、2 人が収集をしてきたさまざまな時代の、山田真萬、松田恭司、上江州茂生、島袋常秀といった沖縄を代表する作家が製作したものから、若手の作品、生活の中で“誰か”によって作られたアノニマスなものまで一堂に集まります。



クバの葉を染めたものや、チョマなどを用いて織られた生地を織物工房の大城工房に沖縄のれんとして仕上げてもらったもの。



棚の上の農茶の色をしたベース、急須、壺などの作品群は、島武巳（しまたけみ）さんによる作品。2 週間もの間、焼成して焼き締めることで、地球のエネルギーを感じるようなこの作品が出来上がります。



「琉球陶器」の人間国宝、金城次郎（1912 - 2004）による深鉢



あるだけで食卓が賑やかに、日々の食事で活躍しそうな大きさや形状が豊富なアイテムたち。アンティークや現在制作されているものまで時代もさまざま。



アフリカのマスクや、ナイジェリアのヨルバ族の男性が身に着ける貫頭衣（壁面右手）を沖縄のものたちと合わせる。藍染と刺繍がほどこされたファブリック。三角形にギザギザとされてる刺繍はナイフを意味していて、ナイフの数の多さでこれを身に着ける人物がいかに大切かを表す。



MOGI & MOGI Gallery Shop

東京都杉並区高円寺南 3-44-14 1F

定休日：火、水、木、金 営業時間：12:00 - 19:00

MOGI Folk Art

東京都杉並区高円寺南 3-45-12

定休日：火、水 営業時間：12:00 - 19:00



I.G @mogi_and_mogi

@mogi_folk_art

ONLINE SHOP <https://mogi-shop.com/>

【Profile】テリー・エリス、北村恵子

1985年ビームス入社。ロンドンオフィスにて、主にインターナショナルギャラリーのインポートのバイイングを担当。1994年にBeams Modern Livingを立ち上げ、2003年にフェニカをスタート。2022年に東京にも拠点を構え独立。2022年、東京・高円寺に自身の店「MOGI Folk Art」をオープン。2024年3月に2店舗目の「MOGI & MOGI Gallery Shop」をオープン。

photo: Koji Honda

PRESS CONTACT：

ご質問、取材や掲載用画像などのご希望は、下記プレス担当までお問合せください

竹形尚子（daily press） naotakegata@dailypress.org 03-6416-3201 / 090-1531-6268